

令和六年度（第四十三回）定時総会（理事長挨拶）

理事長の中川でございます。

本日は、丸亀市シルバー人材センター第四十三回定時総会を開催致しましたところ、ご来賓、役員並びに会員の皆様方のご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

今年度の総会は、新型コロナウイルスが五類感染症に変更になったことから、五年ぶりに全会員に案内し、生涯学習センターで、開催させていただいております。

ご来賓として松永丸亀市長様、三宅市議会議長様、丸亀公共職業安定所横峰所長様、シルバー人材センター香川県連合会岡本会長様をお招きし、後程ご祝辞を賜りますとともに、議事終了後、第二部として丸亀市防災アドバイザーの松村朝生様より、今後三十年以内の発生確率が、七十から八十パーセントと予測されております南海トラフ巨大地震に備えて、ご講演をいただきますので、最後までよろしくお願いいたします。

きて、昨年度の活動の実績は、この後、議事の中で詳しくご説明させていただきますが、年度末の会員総数は、前年度から五人多い九百十三人です。

請負・委託・派遣合計の事業実績は、約四億七千四百六十六万円で、前年度比0・四%の増額となりました。

これは、昨年五月に新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ五類感染症に変更となり、各種行事も再開され人の動きも活発となったことと、六月から、会員の皆様をはじめ、役員、職員全員が、発注者の活動状況をしつかりと把握し、ニーズにすばやく、的確に 대응していた結果でございます。

また、新しい税制度（インボイス制度）の導入が、昨年十月から始まりました。当センターといたしましては、免税事業者である会員との取引に関しては仕入控除ができないため、新たな税負担が発生しております。この件に関しては、今後、できる限り事業運営に支障をきたさない、長期的な視点による対応策を検討しております。基本的な考え方としましては、就業を通じ

地域に貢献しようとする努力をしている会員の意欲を削ぐことが無いよう、最大限の努力をしていきたいと考えております。

シルバー事業を維持・発展させるためには、言うまでもなく会員の増強が重要でありますので、本年度は、各コミュニティなどで催し物が開催されており、積極的に参加し、「チラシ配布による会員勧誘」等の積極的な活動を行い、これまで以上に組織を挙げて会員の確保に取り組んでまいります。

本日の議事は、「令和六年度事業計画及び収支予算等の報告」など報告事項三件と、「令和五年度事業報告及び収支決算」と、「役員を選任」の決議事項三件となっております。

スムーズな議事進行に努めますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員皆様方の今後ますますのご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます、私の挨拶といたします。